

7th Biomass Pellets Trade & Power

16 - 19 May 2016, Tokyo
Tokyo Marriott Hotel

メイン会議は日本語英語同時通訳を提供します
The main conference will provide a Japanese-English simultaneous interpretation



www.cmtevents.com

第1日目-5月16日月曜日

~別途ご予約が必要です~

会議前ワークショップ：
ブラックペレットについて
(09:00 - 17:00)

進行役として、オランダエネルギー研究財団 ECN および RWE オランダなど、バイオマス専門各社

ワークショップでの検討課題

- 08:30 ワークショップ受付開始とコーヒーサービス
- 09:00 はじめに；
現代のブラックペレットとその背景
- 10:00 焙煎（トレファイド）および水蒸気爆砕
処理済みペレット：その利点と間
- 11:30 現時点でのペレット技術概観
- 12:30 ワークショップおよび昼食
- 13:30 市場の発展
- 15:30 微粉炭火力発電所におけるブラックペレットの
混焼
- 16:45 ブラックペレットの将来展望
- 17:00 結論及び、ワークショップの終了

第2日目-5月17日火曜日

本会議 第1日目

- 08:00 受付開始と コーヒーサービス
- 09:00 議長あいさつ
- 09:10 電力市場改革が日本の混合発電に与える影響
Bloomberg New Energy Finance
Miho Kurosaki, Power & Gas Senior Analyst
- 09:35 日本の電力業界におけるバイオマスの
可能性と、固定価格買取制度について
・震災前と震災後の電源構成と二酸化炭素の
排出
・日本の固定価格買取制度（FIT）
・FIT における実際の電力買取り量

- ・バイオマスにおける住友商事の取組み
住友商事株式会社
バイオマス担当部長、草野 善信氏
- 10:10 バイオマス・ペレット貿易と発電会議展示場
にてネットワーキングおよび軽食・ドリンク
スポンサー：
 arbaflame
- 10:50 韓国におけるエネルギー政策の変化と国産/
輸入バイオマスの持ち得る機会
・韓国のエネルギーおよび気候変動に関する
政策（RPS）とエネルギービジネス市場の
反応
・韓国における炭素排出権取引、地域熱供給
および再生可能エネルギー供給義務（RHO）
・政策や世論に応じて国産/輸入バイオ
マスが持ち得る機会
Hanwha Corp (HQ)
Jihyun Park, Kelly, Manager, Green & Renewable
Energy Business Team Strategic Business
Development Division
EnerOne, Inc., Junghun Kim, Manager
- 11:45 石炭による二酸化炭素排出規制に向けた
中国の努力と、それに対応するバイオ
マス活用への影響および機会
China Renewable Energy Industry Association
Weiquan Wang, Vice Secretary General
Jiangsu Muyang Group Co. Ltd.
Rainy Qian Wei, Asst. GM Sales
- 12:15 日韓：両国の諸政策の進展状況と、国際
的に取引されるバイオマスに与える影響
・市場の発展および需要の見通し
・需要の展望
・諸政策の進展状況と、需要に与えるその
影響
・需要展望の再考察：恐らくこうなるであ
ろう、将来のペレット需要
Indufor Asia Pacific Ltd
Matt Bovelander, Senior Consultant Bio Solutions
- 12:50 ネットワーキングおよび昼食
- 14:10 午後の部議長：
Voyage Power, Brodie Govan, Biomass Broker

- 14:15 タイにおけるバイオマスペレットと電力状況
・バイオマス原料供給の状況と進展
・バイオマス電力の国内需要と展望
・木質ペレット生産能力と輸出能力
Tipawat Corporation Limited
Wattanapong Thongsai, Managing Director
- 14:40 ベトナム産バイオマスペレット
・大きな可能性を秘めた、若い成長ビジネス
・日本市場を意識した、持続性のあるビジネ
スにするための準備
・アジアからのバイオマスの安定供給を
維持するために、正しい製品の選択と
ありべき価格
An Viet Phat Energy Co., Ltd
Andy Bui, International Sales Director
- 15:05 パーム椰子殻（PKS）市場力学の分析：
差し迫る需給の不均衡
Asia Resource Partners Pte. Ltd.
Oliver Mauss, Managing Director
- 15:30 バイオマス・ペレット貿易と発電会議展示場
にてネットワーキングおよび軽食・ドリンク
スポンサー：
 enviva
- 16:00 木質ペレット主要供給ハブとしてのロシアの
台頭
・ロシアの生産能力および将来における成長
可能性の考察
・「ヨーロッパ対北米」という供給経済から
の移行
・ロシアは運送問題および認証の進展に関す
る問題を克服できるのか？
Biomass Partners A/S
Simon Rodian Christensen, CEO CM
- 16:25 木質ペレットのサプライチェーンに伴う
リスク（森林、原材料輸送、製造/ペレ
ット化、港への輸送、保管、船積み、海上
輸送、荷揚げなど）
Pinnacle Renewable Energy, Vaughan Bassett,
Senior Vice President, Sales & Logistics

- 16:50 ファイバーの争奪戦。国際需給関係が日
韓へのバイオマス供給価格に与える影響
・日韓への木質ペレット供給オプション
・異なる地域からの木質ペレットの価格比較
・各地域における問題点と利点
・バイオマス燃料として、またPKSの代用
として、木質ペレットを国際的に利用する
ように移行している理由
・日本への木材チップ価格に対する国際的な
影響
Voyage Power, Brodie Govan, Biomass Broker
IBBrokers, Cindy Dawes, Director
- 17:20 各国の木質ペレットの価格・サステナビリ
ティ・特徴に関する各種意見
・契約および交渉における履行・信用リスク
の重要性に関する見解
・木質ペレット/バイオマス製品のサステナビ
リティと購買者の需要への合致性
・主要な輸出市場および、各供給国における
国産市場の現在の台頭可能性
・供給安定性の面で、供給者はいかに原料費
の変動を抑えているか。長期取引量と見合
うようにこのようなコストを固定できる
のか。
・今後12~24か月の展望は？
司会進行：
Voyage Power, Brodie Govan
- パネル
Tipawat Corporation Limited
Wattanapong Thongsai
Pinnacle Renewable Energy, Vaughan Bassett
Asia Resource Partners Pte. Ltd., Oliver Mauss
An Viet Phat Energy Co., Ltd, Andy Bui
CM Biomass Partners A/S
Simon Rodian Christensen
- 18:00 第1日目終了

18:05 - 19:05
バイオマス・ペレット貿易と発電会議展示場にてネ
ットワーキングおよびカクテルパーティー



第3日目-5月18日水曜日

本会議 第2日目

08:00 ~ 09:30 朝食公演 - 固形バイオマス燃料の特徴および調達先の考察

1. バイオマス燃料オプション

- 木材チップ(国産・輸入)、木質ペレット(普通ペレット・ブラックペレット)、PKS、EFB、バガス、その他オプションの検証
- 核燃料の物理的・化学的特徴とコスト比較
- 現時点でのバイオマス燃焼システムとその各アプリケーションにおける最適な燃料オプション

2. バイオマス調達先オプション

- 異なる各調達先の検証
- ファイバーの特徴、長期サステナビリティ、運送、社会的・政治的リスク、為替リスク
- バイオマス調達における環境的・経済的考察
- 調達手順および契約のオプション

3. バイオマスの環境的利点

- バイオマス利用はなぜ論議的になり、多くのNGOがバイオマス利用に反対するのか?
- 温室効果ガスに関する迷信と事実、およびこれら迷信に反論する重要性
- バイオマスのサステナビリティ実現はなぜそれほど重要なのか、その理由とヨーロッパの実例から学べる事柄。

4. バイオマスのサステナビリティ実現

- 調達先の国の法律に頼るのみではなぜ不十分なのか?
- 認証、また認証制度はいかに確立したか。
- 認証の主な種類およびそれらの制度確立の歴史
- 日韓バイオマスセクターへのアドバイス

FutureMetrics LLC, William Strauss, President & WPAC, Gordon Murray, Executive Director

09:30 議長あいさつ

Indufor Asia Pacific Ltd

Matt Bovelander, Senior Consultant Bio Solutions

09:35 サステナビリティのあるサトウキビのバイオマス

- コザン & ブラジリアン農業市場の概要
 - サトウキビのバイオマス・ペレットとしての可能性
 - コザン・バイオマス・アクティビティ
- Cosan Group / Cosan Biomassa S.A.
Mark Lyra, CEO

10:00 異なる規模での革新的なペレット生産

- 異なるペレット工場でのコンセプト比較
- 構想から生み出すカスタム仕様のペレット工場：障害や節目
- 技術展望



Rudnick & Enners GmbH

Sven Rudnick, General Manager

10:25 10年間にわたるバイオマスの高率混焼実施からみられる技術的展望

RWE Generation NL, Dr. Ir. Wim Willeboer
Strategic Engineer Process Technology

11:00 バイオマス・ペレット貿易と発電会議展示場にてネットワーキングおよび軽食・ドリンク

11:30 王子グループによる、新FIT制度に於けるバイオマスエネルギーへの関わりについて

- 王子グループ概要
- 日本におけるFIT制度バイオマスボイラーの状況
- 日本での木材原料市場の展望
- 王子ホールディングス株式会社
- 取締役 常務グループ経営委員
- 資源環境ビジネスカンパニー プレジデント
- 鎌田 環彦氏

11:55 転機を迎えるFIT制度下での日本の木質バイオマス発電

- FIT制度下でのバイオマス発電の現状
- 既存の木材業界との対立
- 日本における輸入木質バイオマスの可能性
- 日本製紙連合会
- 常務理事 上河 潔氏

12:20 混焼方法における効率の良いブレンド：アジア市場のためにヨーロッパの事例から学べること

Energy Research Centre of the Netherlands (ECN), Edze Diemer, Senior Business Developer
Biomass & Energy Efficiency

12:20 バイオマス・プロジェクト取進めにおけるリスク軽減-パートナーシップを通じて

- 津軽バイオマス発電プロジェクトおよび持ち株会社/資産会社/事業会社に適用される組織構造について

- 当構造の優位性：リスクの参加当事者への適切な分配

Veolia, Christophe Maquet
Director Energy Business Line

株式会社タケエイ
エネルギービジネスライン 取締役
クリストフ・マケ氏

13:00 ネットワーキングおよび昼食

14:15 午後の部議長：

Wood Pellet Association of Canada - WPAC
Gordon Murray, Executive Director

14:20 韓国におけるIPPバイオマス発電所の操業(蔚山IPPのSRFとバイオマス利用のケーススタディ)

- 蔚山でのIPPとバイオマス調達問題
 - 蔚山IPPにおける燃料の経済性比較：SRF対バイオマス
 - 韓国におけるIPPバイオマス発電の将来性
- Lantern Advisory & Investments
Michael Paik, Executive Director

14:45 バイオマス混焼をおこなう微粉炭ボイラー式火力発電所のデザインおよび建設

- 日本の状況の将来展望
 - バイオマス混焼率を上げるための新技術
 - バイオマス供給に関する要望条件
- 株式会社ガスアンドパワー
電力事業部長 取締役 濱口 喜宏氏

15:15 微粉炭式火力発電所での木質ペレットの混焼

- バイオマス混焼率最大25%アップ可能
 - 微粉炭粉砕機の後付けによる木材ペレット混焼率大幅アップ可能
- 株式会社 IHI, 電力事業部燃焼技術部主査・課長 大野 恵美氏

15:45 US木質ペレット-サステナビリティ・信頼性・競争力のある燃料供給ソリューション

Enviva LP
Thomas Meth, Executive VP, Sales & Marketing

16:20 最終ディスカッションの後、会議終了

ここに公表されているプログラム詳細は2016年5月11日現在のもので、発表者や議題に関する最新の情報は、<http://www.cmtevents.com/main.aspx?ev=160501> でご確認ください。

第4日目-5月19日木曜日

~別途ご予約が必要です~

会議後見学ツアー：
相馬共同火力発電新地発電所
(07:00 - 20:00)

新地発電所詳細：
微粉炭ボイラーでの木質ペレットと石炭の混焼
混焼率：現時点最大3%

06:45 見学ツアー申し込みおよび東京マリオットホテルにてバス乗車

07:00 東京マリオットホテル出発

07:45 東京駅到着

07:55 仙台行き新幹線乗車

09:30 仙台駅到着、チャーターバスに乗り

10:10 各自徒歩40分で瑞鳳園に到着

10:50 バス乗車、昼食の目的地へ出発

11:30 昼食(和食)

12:20 バス乗車、相馬新地発電所へ出発

13:30 新地発電所到着、見学ツアーおよび発表

16:00 バス乗車、仙台駅へ出発

17:30 新幹線で東京駅へ

19:05 東京駅到着、バスで東京マリオットホテルへ

19:45 東京マリオットホテル到着

お一人様参加費用：

会議(5月17日-18日)	(USD)
お一人様通常参加費用	1995.00
3人以上のグループ(お一人様)	1495.00
会議前ワークショップ - 5月16日	(USD)
会議前ワークショップ：ブラックペレットについて	1095.00
会議後見学ツアー - 5月19日	(USD)
相馬共同火力発電新地発電所	595.00

3つのお申し込み方法

オンライン：www.cmtevents.com
Eメール：hafizah@cmtevents.com
電話：**(65) 6346 9218**